＜第2部＞

④　在校生向け
福祉体感ツアー

- 大阪医療技術学園専門学校
- 堺市障がい者就業・生活支援センター
（エマリス堺）

おおさか福祉
大阪発！！

オープンキャンパスフォーラム２０１８

第２部　１．学生向け体感ツアーの報告

《開催者から》

ツアー企画に至った背景

—在学生の中には—
・障がい分野の専門性に特化した学校がない
・障がい福祉職を目指す

—キャリアセンターから—
・障がい福祉職に就きたいが、決めきれない学生がいる
・先輩職員と会う機会があれば

—支援機関から—
・人材不足は否めない
・在学生時に障がい者支援に触れてもらう機会設置
・支援機関同士と会う機会

ツアーとは

このような背景の中、必要な社会的支援機関や制度、何よりもゲンバで働く先輩たちがどのような支援をどういった思いや手段で行っているのかを現地見学を伴う活動を通じて学ぶ機会が必要となっています。またキャリアセンター担当者との情報共有の機会であるとともに、社会参加を目指す学生たちとの地域交流の機会創出を目指した企画（学生向け体感ツアー）です。

第２部　１．学生向け体感ツアー　《本気のプロに出会おう》

報告

平成２９年度
８回限定の福祉体感ツアーを企画しました！

学生さん、学校関係者、福祉事業所関係者
各体感ツアーに、30～40名の参加！

Ⅰ.5/23 GIVE&GIFT
Ⅱ.7/4 ＮＰＯ法人大阪精神障がい者就労支援ネットワーク
Ⅲ.8/22 ラ・ポール梅田
Ⅳ.9/12 大阪医療技術学園専門学校
Ⅴ.11/21 もくれんfarm花キリン
Ⅵ.12/20 堺市立健康福祉プラザ
Ⅶ.1/17 シゴトライ・リンクビー大阪
Ⅷ.2/21 創作粉右衛門（せふぃろと）

一例

福祉体感ツアー 12/20
第６回堺市立健康福祉プラザにての報告（１例）

開催日　：　12/20(火)17:00～20:00
参加者　：　16名(学生・学校関係者)　18名(福祉事業所関係者)　計34名
開催場所：堺市立健康福祉プラザ(堺市堺区旭ヶ丘中町4－3－1)にて
内　容　：　○「堺市立健康福祉プラザ」の機能の紹介
　　○　障がい者支援という"しごと"をやってきて、今思うこと!
　　○　グループディスカッション(5グループに分かれて)

これまでの感想から

福祉事業所関係者

受け入れてみて学生さん達の熱心さ等を感じ、良かった。たいそうなこともなかった

学生さん達と話すことで、逆に勉強になった

普段会えない福祉事業所関係者等との交流も良かった

出会いから始る

学生・学校関係者

学生への情報提供は、現場の見学、先輩との交流が一番〈学校関係者〉

障がい福祉職は大変に思っていたが、やりがいのある仕事と感じた〈学生〉

本で学ぶ福祉サービスや制度がより具体的に理解できた〈学生〉

障がい者福祉の現場はすべて
新たな一歩がはじまる学びのキャンパスだ！

将来の進路の選択肢の可能性を在学中から情報収集できるような取組に

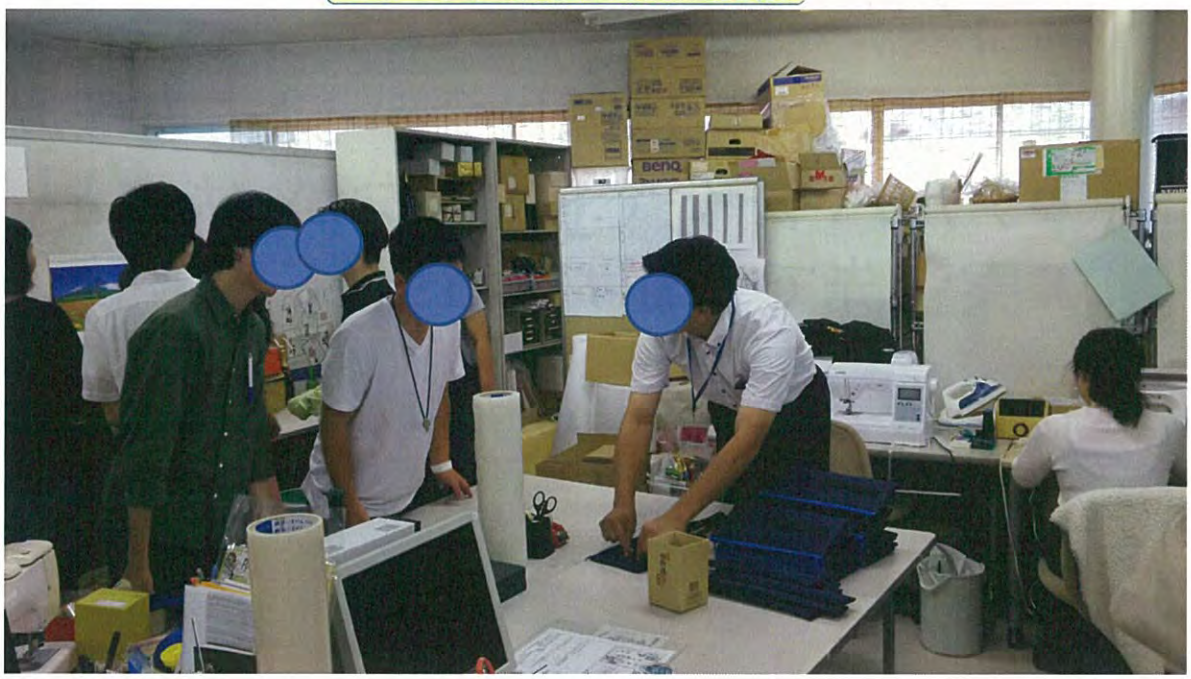
おおさか福祉大阪発！！

オープンキャンパスフォーラム２０１８

第２部　１．学生向け体感ツアーの報告

《参加者から》

ツアー企画参加を決めた背景



参加してのメリット

- 出会い
- 繋がり
- 生の声
- 自己覚知
- 学び

印象的だったこと

グループワークを通して･･･

●学校の先生に聞けなかったこと
●アルバイト先でも聞けなかったこと
●実習先でも聞けなかったこと

本音をぶつけることができる！

もっとこうなって欲しい

●様々な形態の事業所様の見学
●実際の利用者様の様子を見たい

福祉従事者の方との交流も貴重だが
実際に現場を目で見て感じたい
という学生の声が多い

参加者（学生）を増やすためには

- 入学して早い段階での告知
- 先生が率先して参加する
- 事前案内の内容が正確であること

興味ある！

行ってみたい！

なにそれ？

＜第2部＞

⑤　施設間ネットワーク構築の取り組み（地域コミュニティーの可能性）

・大阪市東部地域
就労移行支援事業所連絡会
（E-Cheers）

＜マナー講座部会＞
＜人材育成部門＞

E-Cheersの取組について

～繋がりが可能性を広げる～

大阪市東部地域
就労移行支援事業所 連絡会

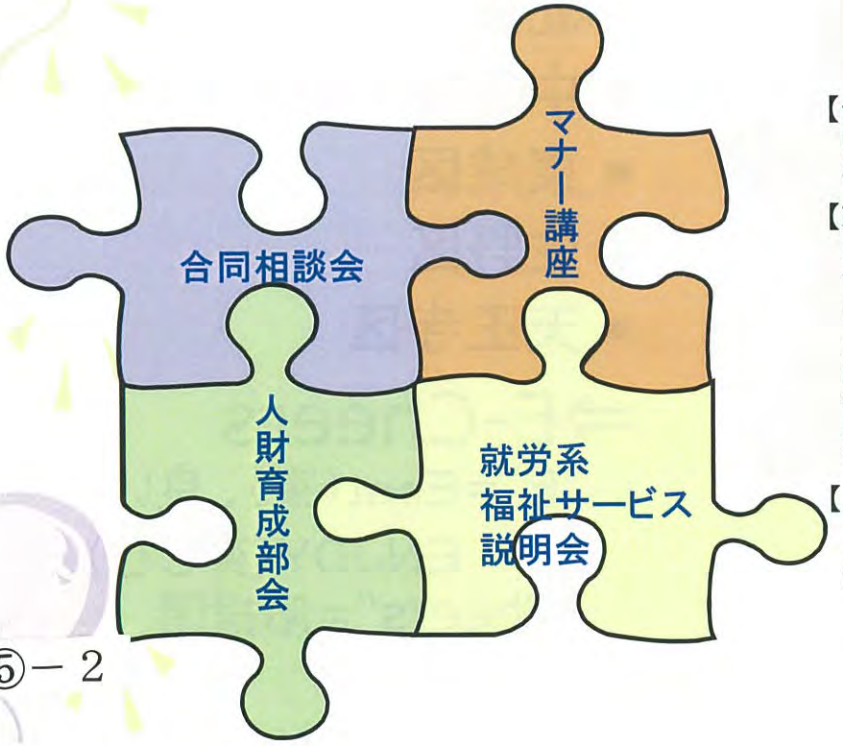
- 北区
- 中央区
- 東成区
- 生野区
- 天王寺区

⇒E-Cheers
"E"=East(東)、良い
ENJOY(楽しむ)…
"Cheers"=応援団

“人財”と“社会資源”の応援団

- 事業所合同説明会 開催
- 施設間支援 確立
- 学校相談会 開催
- ハローワーク主催「合同面接会」
- 他地域（大阪市内 等）連携
- 教育機関（支援学校、専修学校、高校
  専門学校、大学） 連携
- 人材育成セミナー 開催
- 学生ボランティア 育成

E-Cheersモデル



各部会の紹介

【合同相談会】
従来の不特定多数に向けた周知でなく、協力機関と連携し、ニーズに応えた状況で、相談重視で開催。

【就労系福祉サービス説明会】
毎月、大阪市内のハローワークにて就労系福祉サービスの体験・説明ブース等設置。

【マナー講座】
支援学校高等部3年間を通じて校内・企業実習に向けた事前マナー講座。
初級・中級・上級と3段階に分けたマニュアルを作成。学校行事として組み込まれ、教育機関との連携を深める取組み。

【人財育成部会】
「今さら聞けない」「今だからこそ聞きたい」全員が主体者となって情報共有・スキルアップを目指します。

マナー講座部会

大阪市東部地域就労移行支援事業所連絡会

マナー講座部会とは

【設立趣旨】
E-cheersの立ち上げから1年後、支援学校の進路指導担当の先生よりお声がかかる

「学校では社会のマナーを教える余裕がない・・・」
「外部の人を呼んで生徒にマナーを勉強させたい！」

↓

1事業所だけに依頼するのは困難・・・

↓

「E-cheersのような団体ならお願いしやすい！！」

実施事例

・支援学校
　年3回の実施依頼
→初級編・中級編・上級編を1クールとし、
　マニュアルを作成（1回80分）
　8名～14名の生徒へ実施

現在3クール目突入！！

・高等専修学校
　年1回、2日間の実施依頼
→支援学校のマニュアルを応用し、2日間で対応

大阪市東部地域就労移行支援事業所連絡会

初級編マニュアル（挨拶や身だしなみなどの基本マナー）

学校と社会でマナーの
違いを知る
↓
グループに分かれて
挨拶の練習
↓
自分の挨拶を動画で
チェック
↓
フィードバック

朝の身だしなみについて

おはようございます。会社に行く前に・・・

前の日	確認する事 やっておく事	実習の日 または 出勤日	確認する事 やっておく事
爪はのびてませんか？	伸びていたら切る	顔は洗いましたか？	毎日顔を洗う
お風呂に入りましたか？	入る。石けんで体・頭を洗う。	歯は磨きましたか？	朝も歯を磨く
歯は磨きましたか？	寝る前に歯を磨く	寝ぐせは直しましたか？	仕事の邪魔にならないように直す。
		清潔な服を着てますか？	汚れている服は着ていかない
		男性 ヒゲは剃りましたか	伸びていたら剃る
		女性 お化粧は適度ですか？	
		鏡は見てますか？	出発前に鏡の前でチェックしましょう!!

大阪市東部地域就労移行支援事業所連絡会

中級編マニュアル（働く意義と自己理解について）

ハローワーク大阪東　障がい者就職面接会IN中央区応募対策セミナー

生徒さんの価値観を知るために質問シートを記入
↓
自分のやりたいこと、欲しいものなど聞き出していく
↓
各々の社会へ出る必要性を見つけるためにグループワークを実施

質問（しつもん）

お給料（きゅうりょう）は一カ月（いっかげつ）にいくらほしいですか？

あなたの答え（こたえ）

上級編マニュアル（面接練習）

一人ずつ面接練習
↓
フィードバック
↓
再度、面接練習
↓
フィードバック

面接チェックリスト

【シーン：④ステップⅢ面接待機状態から始まる面接】

【記入例】	1回目	2回目	備考
ex. 声の大きさは適切か？	○ △ ⊗	○ ⊗ △ ×	二回目やや改善

No.	チェック項目	1回目	2回目	備考
1	声の大きさは適切か？	○ △ ×	○ △ ×	
2	姿勢（背筋、目線）は適切か？	○ △ ×	○ △ ×	
3	身だしなみは適切か？	○ △ ×	○ △ ×	
4	挨拶はきちんとできたか？	○ △ ×	○ △ ×	

【良かった点】	【次回改善が必要な点】

これまでの成果（皆さまのお声）

学校

- 生徒たちが社会に出る必要性や準備すべきことの気づきが生まれる
- 生徒たちが色んな大人と関わることでマナーの必要性を感じられる
- 担任の先生方が就労移行での取り組みを身近に感じることが出来る
- 先生方が学校で出来る内容を持ち帰り、日頃の指導に活かせる

支援機関

- 色んな支援者の支援方法を学び、事業所の支援に活かすことができる
- 考え方や技術の幅が広がり、成長する（人材育成につながる）
- 関係機関との連携が深まり、事業所の利用者に関する相談が気軽に出来るようになる

人材育成部門とは

【設立趣旨】
E-cheersの繋がりを活かし、各事業所の利用者様や職員の可能性を広げる活動を行う。
具体的な狙いは下記2点。

・スタッフの育成機会をつくる
・他事業所の好事例を自事業所へ持ち帰り、課題解決につなげる

【参加メリット】
それぞれが抱える問題を解決する
①困難ケースへの対応　③利用者募集
②運営改善　④就職・定着支援

シェアE-Cheersとは

3ヶ月に１回程
金曜日夜
17：30～19：00
５、６名1グループ

各グループで悩みと経験を共有する

場を作る上で、気をつけたこと

べき論、理想

役割とか準備が大変

猛者からの アドバイス

一向に現場に還元できない・・・

シェア内容と進め方

- 報酬改正への対応
- 休みがちで通所が安定しない方への支援
- 発達障害をお持ちの方に合う支援方法
- 利用者の募集について各事業所の取り組み
- 企業からの緊急時の対応依頼にどこまで応じるか
- 支援拒否など関係がこじれてしまったケースの対応等

1	自己紹介（２分×６人）
2	役割決め　　記録、発表
3	話題の確認
4	シェア（３分以内×６）
5	グループ内まとめ 発表者は発表準備
6	各グループ発表
7	全体まとめ

⑤－８

▼

シェアした情報を
活かして現場を改善

＜第2部＞

⑥　施設間ネットワーク構築の取り組み（地域コミュニティーの可能性）

▪ (株)ソーシャルプランニング流
（就労創造センターせふぃろと）

おおさか福祉オープンキャンパス事務局

OSAKA福祉オープンキャンパス
公式サイト

スマホでも・パソコンでも

QRを
＼読み取って／

公式サイトへ
＼ GO!だよ ／

ブックマークしてねブックマークしてねブックマークしてねブックマークしてね

イベント＆
ニュースを
チェック！

イベント詳細を
チェック！

イベント報告も
チェック！

OSAKA福祉オープンキャンパス
Facebookページ

スマホでも・パソコンでも

QRを
＼読み取って／

Facebook へ
＼ GO!だよ ／

いいね

してね

⑥－２